

読む・百人一首 091

後京極摂政前太政大臣

きりぎりす

鳴くや霜夜の

さむしろに

衣かたしき

ひとりかも寝む

きりぎりす

なくやしもよの

さむしろに

ころもかたしき

ひとりかもねむ

読む・百人一首 092

二条院讃岐

わが袖は

潮干に見えぬ

沖の石の

人こそ知らね

かわく間もなし

わがそでは

しほひにみえぬ

おきのいしの

ひとこそしらね

かわくまもなし